



## 秋季火災予防運動 (11月9日～15日) 『おうち時間 家族で点検 火の始末』

### 住宅防火・命を守る 10のポイント

- 4つの習慣
  - ①寝たばこは絶対にしない、させない。
  - ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
  - ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
  - ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。
- 6つの対策
  - ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
  - ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
  - ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具・衣類・カーテンは、防火品を使用する。
  - ④火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
  - ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
  - ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

### 防火ポスターコンクール結果

正しい火の取り扱いや住宅用火災警報器の設置を推進する作品を募集し、次のとおり入賞作品を決定しました。

#### <彦根市消防長賞>

村井 南星さん(中央中1年)

#### <彦根防火保安協会会長賞>

高田 奈千さん(佐和山小2年)

【金賞】小田 柿心望さん(豊郷小3年)

【金賞】木原 寧音さん(城北小4年)

【金賞】大橋 結芽さん(東中2年)

【銀賞】伊丹 悠進さん(若葉小2年)

【銀賞】久米 結月さん(金城小6年)

【銀賞】堀江 夏妃さん(中央中1年)

【銀賞】小川 大暉さん(東中2年)

【銅賞】森居 優生さん(鳥居本小1年)

【銅賞】安井 瑞希さん(金城小5年)

【銅賞】前川 緋里さん(多賀中2年)

【銅賞】松井 和奏さん(東中2年)

【銅賞】岡崎 莉彩奈さん(西中3年)



### 119番通報するときは、慌てず落ち着いて

11月9日は、昭和62年から地域住民と消防をつなぐ電話番号にちなんで、「119番の日」と定められています。  
落ち着いて、正しい通報をするように心がけましょう。  
☎ 消防本部通信指令課 ☎ 22-0119 FAX 27-0119



11月23日(火・祝)まで

## 「日本の刀装 - 刀を飾る技と美 -」

鞘や柄、鐔などからなる刀装。本展では、館内外の優品を通して鞘塗を中心とした装飾の変遷を紹介いたします。



重要文化財青漆塗 金銀斗刻鞘大小拵 (京都国立博物館蔵)

### ■ 関連講演会 「日本の刀装 その豊かな装飾」

日本の刀装にはさまざまな装飾が施され、中でも鞘には、金や銀、貝、鮫皮、象牙、木の実などと漆塗を組み合わせた、バリエーション豊かな表現が見られます。本講では鞘塗を中心に、刀装にあしらわれた装飾の数々を当館学芸員が紹介します。

【日時】11月13日(土)14:00～15:30 【場所】講堂

【費用】資料代100円(観覧料は別途必要)

【申込方法】当日受付(先着35人、受付は13:30～)

11月27日(土)～12月24日(金)

## 「井伊家近代文書からみる彦根城」

江戸時代に権力や軍事の拠点であった城は、近代になると地域住民に開かれた公共の場になっていきました。

本展では、彦根城の天守が一般に公開されるなど、城が人びとの親しみ場へと転換していく姿を紹介いたします。



彦根城山行路御通図

### ■ スライドトーク

【日時】11月27日(土)14:00～(30分程度)

【解説】当館学芸員 【場所】講堂

※無料(観覧料は別途必要)

※当日受付(先着35人、受付は13:30～)

■【休館日のお知らせ】11月26日(金)  
■11月24日(水)・同25日(木)は、展示替えのため一部休室します。

## チケット情報

### ひこね市文化プラザ

#### 公演等中止・募集取りやめのご案内

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の下記事業を中止します。それに伴い、参加者の募集も取りやめとします。  
どうぞご理解いただきますよう、よろしくお願い致します。

- ①12月19日 第23回手づくり第九演奏会
- ②第13回直弼杯将棋大会
- ③第13回直弼杯囲碁大会
- ④プラザフェスティバル2022

申込・お問い合わせ先 チケットセンター  
☎27-5200 (9:00～19:00)  
チケットはインターネットでもご購入いただけます。  
https://bunpla.jp/

11月の休館日：1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】  
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。  
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

### みずほ文化センター

12月11日(土)14:30 多目的ホール

#### 輝8輝 津軽三味線コンサート

指定 【好評発売中】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)  
一般2,000円、青少年(25歳未満)1,500円



12月18日(土)14:00 多目的ホール

#### 人形劇&影絵公演

出演:パペットシアター・らせんくらぶ、影絵人形劇団むむのこ  
【自由】【好評発売中】 前売500円、当日600円(2歳以上有料)



令和4年1月15日(土)14:00 多目的ホール

#### 彦根亭 みずほ寄席 新春落語まつり

指定 【11月6日(土)販売開始】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)  
一般(前売)1,500円、(当日)1,800円  
高校生以下(前売)1,000円、(当日)1,200円  
出演:笑福亭晃瓶、笑福亭由瓶、笑福亭松五、笑福亭呂翔



申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター  
☎43-8111 (9:00～17:00)

11月の休館日：2日(火)、4日(木)、9日(火)、16日(火)、24日(水)、30日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。  
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。  
子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置  
▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」の表示の設置



▲黒漆塗胡桃塗込鞘大小拵



▲文様の拡大

刀を収める鞘は、古くから金や銀、漆、貝、裂など、さまざまな素材で装飾されてきました。特に江戸時代の鞘には、多種多様な素材が使用されています。  
ここでは、その一例を紹介しましょう。写真の刀装は、彦根藩井伊家伝来品の一つで、黒漆地の鞘に、赤く見える円形の文様が散らされています。この文様は、よく見ると細かい空洞があり、やや独特な形です。

実は、この文様には胡桃の実が使われています。薄く切った殻を鞘に貼り、漆で塗り込めた後、胡桃の上の漆を剥がして文様を表しています。  
本作の文様について井伊家の古文書には、「フルミ向蝶形」と記されています。胡桃の断面を2匹の羽を広げた蝶が

制作当時、胡桃の断面が表す形のおもしろさを見出し、それを鞘のデザインに取り入れようとする鋭い感性、そして固い胡桃の殻を崩すことなく薄切りにする技術などの条件が揃っていたからこそ、本作が誕生したと言っても過言ではないでしょう。  
江戸時代、鞘塗の種類は数百種以上に及んでいたと言われています。これほどまでに展開した背景には、技術の進歩はもちろんですが、従来使用されてきた素材とは異なるものを取り入れる柔軟な発想、そしてそれを享受する人々の存在があったと考えられます。  
【彦根城博物館学芸員 古幡昇子】

向かい合う「向蝶」(対蝶とも)の文様に見立てているようです。確かに写真の文様を見ると、左右一対の向蝶紋のようにも見受けられます。  
意外性のある素材を使用することは、江戸時代に見られる傾向の一つです。例えば、動物の角や牙、植物の樹皮、果ては鮑を熨したものであります。本作もその一つで、胡桃をあしらった例は珍しく、調べた限りではこの鞘以外に確認できません。

